

2021年3月17日（水曜）

全労金2021春季生活闘争ニュース・第36号

【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】
今こそ全国の仲間と思いをひとつに！心は密に団結を！

**昨日の回答期限日に13単組で「基本合意」を表明！
セントラル労組では納得のいく回答に向けた交渉が
続けられています！**

◎「回答期限日」である3月16日に13単組で「基本合意」を表明！

全労金2021春季生活闘争は、昨日（3月16日）の統一回答期限日に14単組中13単組で団体交渉が開催され、「基本合意」を表明し、「妥結収拾」を図っています。

単組闘争委員会は、組合員の総意で確立した方針と要求主旨を背景に、連日、粘り強く交渉を展開しました。その結果、「2021春季生活闘争で優先して改善すべき」課題として掲げた要求に対し、多くの単組で前向きな回答が示された一方で、課題認識に理解は示しつつも「要求には応じられない」と回答された要求項目もあると認識しています。

全労金は、金融業態全体に広がる日銀の金利政策に伴う影響や、新型コロナウイルス感染症による経営への影響等に対する先行きの不透明感があることは認識しています。しかし、この厳しい環境を乗り越えるためには、今まで以上に労使で力を合わせて対応していく必要があると考えています。そのためにも、今回の春季生活闘争を通じて揃えた労使の共通認識をさらに広げ、今後は、新型コロナウイルス感染症の影響下における事業運営の在り方や働き方等についても、労使がそれぞれの立場で真摯に議論を交わすことで組織風土改革にも繋がっていくものと認識しています。

◎セントラル労組では、基本合意に向けた大詰めの交渉が続けられています！

セントラル労組は、昨日、「団体交渉」を「小交渉」に切り替え、納得のいく回答を引き出すべく交渉を継続しています。単組からは、昨夜までの事業体との交渉の中で、要求主旨に対する労使の認識は揃いつつあるとの報告を受けています。全国の単組・組合員のみなさんには、全労金組織の一員として、「統一闘争」の観点から、セントラル労組の交渉状況に注目し、エールを送りましょう！

※全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>) もご覧ください！

以 上